

WJ テレプロンプター 取扱説明書

三脚をカメラと一体型で使う場合
三脚 1 台用

こちらは
「カメラと一体型で使う場合」の
取扱説明書です。
三脚にカメラとテレプロンプターを一緒に乗せ
バランス良く組み立てていきましょう

目次

◆ 製品のご紹介

- 梱包されているもの
- 各部品の名前

◆ 取り付け手順

- 【1】 部品を組み立てましょう
- 【2】 三脚に取り付けましょう
- 【3】 レール台とミラー台の設置
- 【4】 フードフレームの準備
- 【5】 モニターの設置
- 【オプション】 前面モニターを使う場合
- 【6】 ハーフミラーの設置
- 【7】 セットアップ完了

◆ もっとよく知る

- 困った時は…

準備

セットアップ

取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください
使い方、セットアップの仕方については、アテインのサイトでも動画などでご紹介しています

<http://www.attainj.co.jp/production/teleprompter-wj.html>

製品のご紹介

製品の特長

テレプロンプターWJ をお買い上げいただきありがとうございます
テレプロンプターWJ は、カメラの三脚に取り付ける撮影用機器です。

カメラレンズの前にハーフミラーを取り付け、
ハーフミラーに投影した原稿を読むことで、
出演者のカメラ視線を維持することができます。

PC側のソフトで反転表示させ、LCDモニターに原稿を表示します。
カメラには原稿は映りません。原稿は自動でスクロールします。
カメラマン側からは、ミラーに映った原稿は見えません。
スタジオの撮影、スピーチ、演説、コンサートの撮影など幅広く利用できます。

WJテレプロンプター	ハードウェア
サイズ	19インチ～22インチ
ガラス厚さ	2mm
ガラス反射率	50%
Video Inputs	BNC (Composite), VGA, HDMI
重さ	8kg
コンプライアンス	CE, FCC, ROHS



梱包されているもの

お買い上げいただいた商品には以下のものが同梱されています。

※パーツの細かい仕様、部品の色などは予期なく変更される可能性もあります。あらかじめご了承ください。



LCD モニター

カメラ用レール台……………1
三脚用アタッチメント……………1



通常はこのような状態で梱包されています

カメラ台……………1 ミラー台……………1

< 図 1 >



VGAケーブル

LCD モニター

パーツ、ねじ、部品、コード類など

フードフレーム

ハーフミラー

モニター用レール台……………1
モニター用オプションパーツ…1
モニター用アタッチメント……2

通常はこのような状態で梱包されています



ソフトウェア CD-R ……………1
取扱説明書……………1

小袋に入っているもの

ドングル……………1
六角穴付皿ボルト (大4小2)……6
プラスねじ……………2
フードフレーム止めねじ……………2
六角レンチ……………2

フードフレーム



傷や汚れが付かないように白手袋でお取り扱ってください。梱包材を軽く解いたら安全な場所へ置きます



ハーフミラー

お客様側でご用意いただくもの

- ・カメラ
- ・三脚 (カメラとプロンプターを別にする場合は二台必要です。耐荷重 20kg 以上)
- ・ドライバー類
- ・白手袋 (ハーフミラーを取り扱う際に傷や汚れが付かないようなもの)

各部品の名前

【1】下準備をしながら部品の確認をしましょう

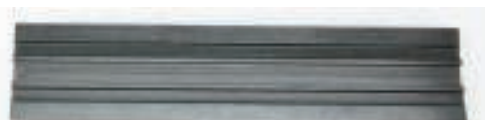
①アタッチメントがついてるものはいったん外しておきましょう

モニター用レール台とモニター用アタッチメント、
カメラ用レール台と三脚用アタッチメントは別々に外しておきます。



↑モニター用レール台(長く、穴が開いている方)

<図 2-1>



<図 2-2>

↑モニター用オプションパーツ(短く、穴がない方。必要な時に使用します)



↑カメラ用レール台

<図 2-3>

モニター用
アタッチメント二個
ねじを緩めて外します



<図 2-4>

<図 2-5>



三脚用アタッチメント

丸の部分をコインやドライバーでゆるめて
レール台からスライドして外します

②フードフレームのフードも外しておきます

<図 2-6>



フードは組み立てておきます



<図 2-7>

ねじは数を確認しておきましょう



<図 2-8>

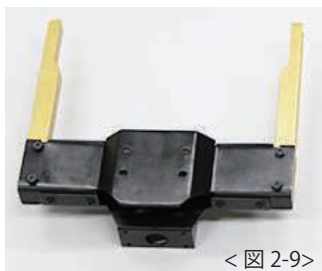
カメラ台座

必要な時に使用します

③裏表など正しい位置がある物をここで確認しておきます。

ミラー台は

目盛がある方がカメラマン側



<図 2-9>

ハーフミラーは

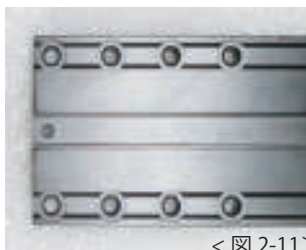
表裏を間違えるとぼやけます



<図 2-10>

モニター用レール台は

くぼみのある側からねじを
締めます



<図 2-11>



<図 2-12>

カメラ用レール台は

ねじのある側がカメラマン側。
フックが上から掛かるように設置します。
ねじを緩めるだけでプレートは外れます
(板自体に表裏はありません)



<図 2-13>

取りつける前に確認をしておくと
手戻りも少なく、スムーズに
設置が行えます

部品を組み立てましょう

①モニター用レール台とモニター用アタッチメントの準備

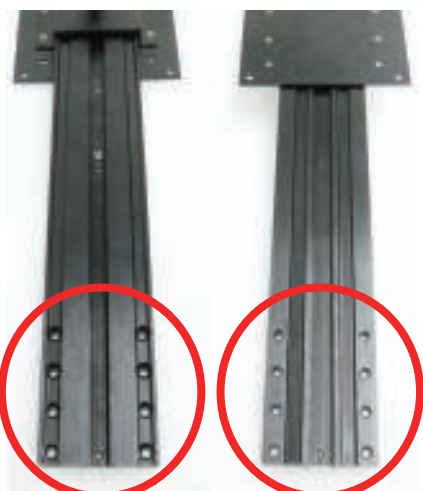


表 裏 <図 3-1>

モニター用レール台には表と裏があります。
穴が窪んでいる方が表です。
モニター用レール台は表側からねじをはめていきます。

向きを確認したらモニター用アタッチメントは
モニター用レール台から外しておきましょう。



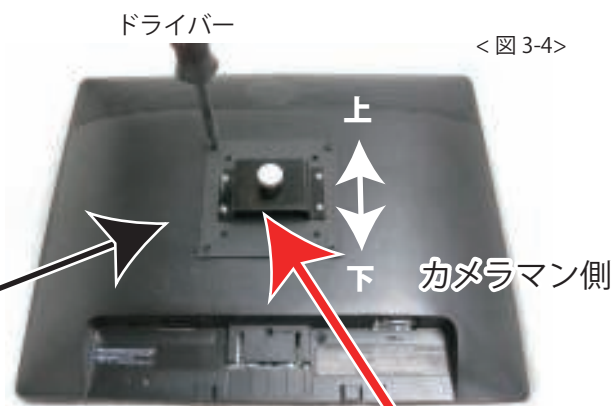
<図 3-3>

モニター用レール台の下準備をします。
長いほうの部品がテレプロンプターに使用する
モニター用レール台です。
(レールに穴がない方は前面モニター用のオプションパーツです。
オプションパーツは必要がなければしまっておきましょう)



<図 3-2>

溝のストッパーとして
締められているねじを
始めに外しておきましょう。
このねじはモニターを設置した
後に滑り止めとして締めます。

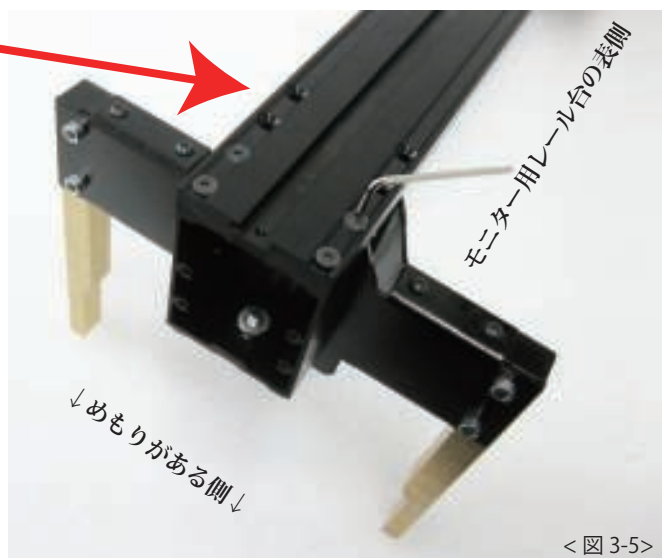


ドライバー

<図 3-4>

モニター用アタッチメントは
モニターに設置しておきましょう。
モニターについているねじを外して取りつけます

②ミラー台とモニター用レール台を設置しておきましょう。



<図 3-5>

モニター用レール台の端の2つ(計4つ)をねじで締めます

ミラー台はメモリがある側がカメラ側となります。
モニター用レール台の表側から
六角穴付きねじを、六角レンチで締めていきます



<図 3-6>

六角穴付皿ボルト(4本 長いもの)



<図 3-7>

六角レンチ

三脚に取り付けましょう

カメラ用レール台の設置

カメラ用レール台の準備をします。各 부품の裏表に注意しましょう。

三脚の前方に約 20kg の重心がかかりますので、しっかりと傾きをロックできるものをご用意ください
カメラを別の三脚に用意して利用する方法もあります。(→ ページをご参照ください)



左の図は三脚にレール台がついた状態です。
銀色のねじの部分カメラマン側に来るように
セットして下さい。

上からフックがかかるよう、上下の向きを間違えないように
準備をしていきましょう。

始めに銀色のねじを少し緩めて上下の確認をしておきましょう

ここで必要な部品 (三脚は別途ご用意ください)

アタッチメント



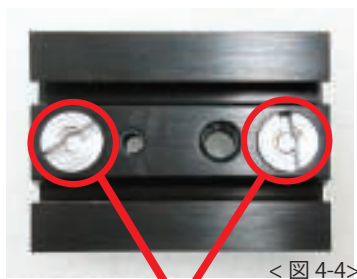
カメラ用レール台



アタッチメントのねじ部分はアルミ製です。コインでも緩められますが、部品の性質上、柔らかい箇所なので
ねじの溝に入るサイズのドライバーで締めるとねじが比較的長持ちしやすいです。

- ① アタッチメントの表側のねじを少し緩め、裏側の六角形の金具を少し浮かせて
レール台の下側 (三脚側) の溝に引っかかるようにセットしましょう。

アタッチメントの表側



ここをコインや
ドライバーなどで緩める

アタッチメントの裏側



六角形の金具がスムーズに
レール台に通るように少し浮かせる

カメラ用レール台



レール台とミラー台の設置



<図 5-1>

アタッチメント表側のねじを締めます。前方に負荷がかかるので、カメラの重さとバランスが取れる位置に配置しましょう。位置が決まったらしっかりと締めておきましょう。(重さが釣合わない時は、「テレプロンプターのみで利用する」を参照) カメラ用レール台を三脚に取り付けるパーツの準備ができました

【1】 三脚にアタッチメントのねじ穴を合わせ、カメラ用レール台をしっかりと取り付けましょう。



<図 5-2>

クイックシューがついた三脚の場合
小さいほうのねじ穴にセットします

雲台が付いたタイプを使う場合は、
しっかりと傾きをロックできるものを使用してください。



<図 5-3>

カメラ用レール台ごと回してねじを締めます。
緩むことのないように取り付けおきましょう。

20kg 程度の重心が前方にかかるため、緩んでいるとバランスを崩してしまい思わぬ事故に繋がりがやすく危険です。しっかりと締めておきましょう。

【2】 ミラー台とモニター用レール台をセットしたものを取り付けます。



<図 5-4>

ミラー台のめもりが
カメラマン側に向くように設置します

下側のレールに
六角形の金具を差し込みます。

↑六角形のとがっている部分と
レールが平行になるように
金具を浮かせながら差し込む



<図 5-5>



<図 5-6>

六角形の金具がスムーズに
レール台に通るように
少し浮かせると良いでしょう

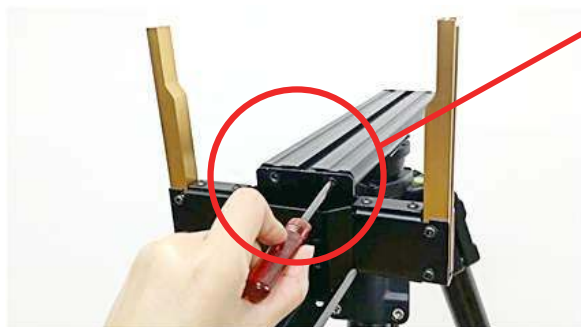
とがっている部分と平行になるように
向きにも注意して差し込みます

フードフレームの準備



六角形の金具の裏側からねじを締めます
(※写真とはパーツが若干違う場合もあります。)

<図 6-1>



こちらの2つの穴を、ねじで固定します。
短めの2つのねじを取り出し、
ドライバーで固定してください。

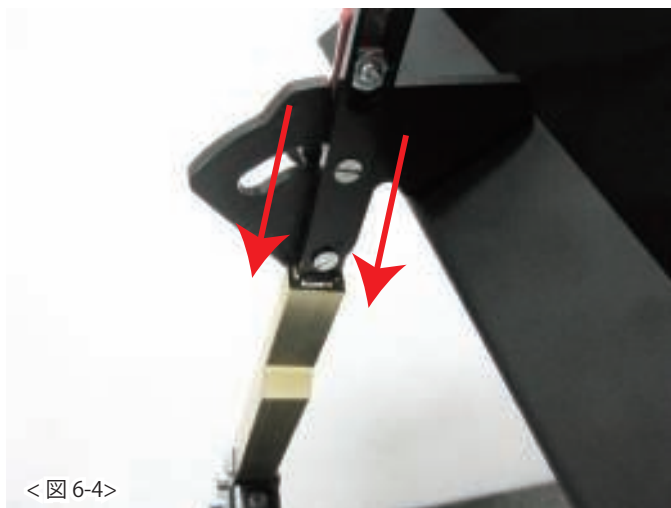


<図 6-2>

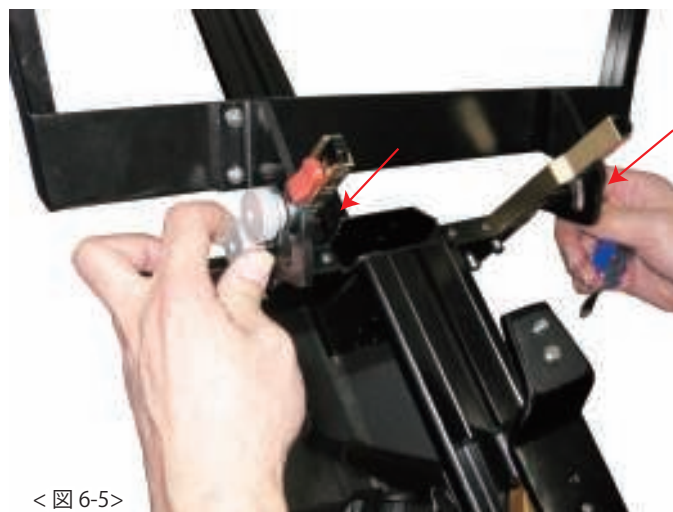
<図 6-3>

フードフレームの枠を設置します

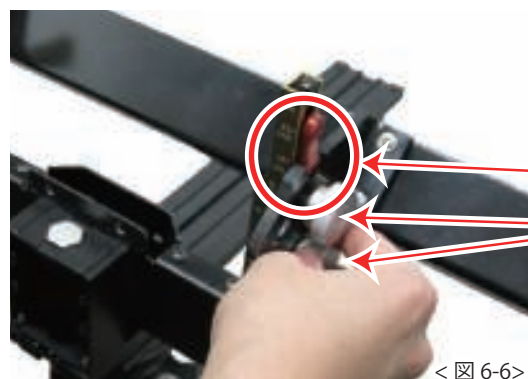
内側のバーをそれぞれ挿入します



<図 6-4>



<図 6-5>



カメラが来る位置に合わせて、
メモリの高さを調整しましょう

赤いストッパーが溝に入っている事を確認したら
銀色のねじを両方とも締めます

<図 6-6>

モニターの設置

モニター画面が上になるように、
モニター用レール台にモニターを通してください



位置を決めたら、モニター板についている
銀色のねじをしめてください。

カメラの台座を取り付けましょう



1. カメラ用レール台の、小さいプレートのねじを
手で少しゆるめてください。

矢印で示したねじをゆるめると、プレートがはずれます
ねじを外してしまわないように気をつけましょう



2. カメラの台座のねじ部分を、
レール台にスライドさせて入れてください。

位置を決め、台座の金色のダイヤルを締めて
固定してください



3. カメラの大きさに合わせて、
台座の前と後ろを入れ替えることができます。

カメラのレンズが、
できるだけフードの真ん中に来るような
高さにしてください。



4. プレートを元に戻し、ねじを締めてください。

前面モニターを使う場合



プロンプターの前面にモニターをつけ、顔出しのチェック用や、時間の表示などにお使い頂けます。
(前面用のモニターは付属していません)

ここで必要な部品

<図 8-2>



<図 8-3>



<図 8-4>



モニター用オプションパーツとモニター用アタッチメント、六角穴付皿ボルト。モニターはお客様側でご用意ください。



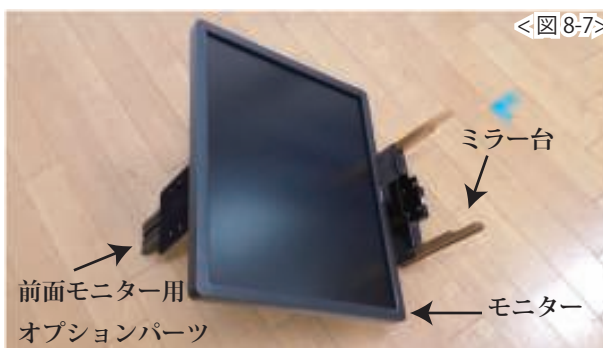
<図 8-5>



<図 8-6>

①短めの板には、穴が2つついている面があります。

②モニター用レール台と六角穴付きねじで結合します



<図 8-7>

③このような形になりました。



<図 8-8>

④前面の短いモニター板に、モニター用アタッチメントをつけたモニターを装着させてください。



<図 8-9>

作業する際にモニター用レール台が短く、モニター用オプションパーツが設置しづらい場合はミラー台をいったん外し、モニターの位置をずらして作業を行ってください。

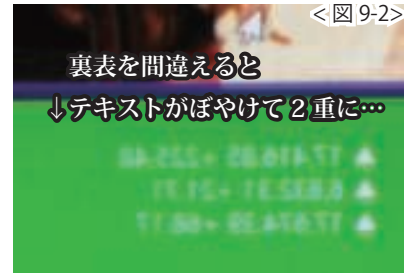
ハーフミラーを設置しましょう

まず、白手袋を装着し、傷や汚れのつかないように気をつけて梱包材から取り出します



<図 9-1>

ハーフミラーには表と裏があります
表裏を間違えると
文字などがぼやけてしまいます
シールを確認し、
正しく設置をするようにしましょう



<図 9-2>

カメラ側を手前にハーフミラーを枠に乗せます。上から差し込むようにスライドさせて入れてください
枠は鉄製なので、割れてしまわないように、置く直前に裏側から指を添えるなどして慎重に置くようにしてください



この状態から...



鉄の枠に接する直前に
片手ずつ裏側から指を添える



<図 9-3>

<図 9-4>



<図 9-5>

その上にフードを載せます

フードも同様に、フレームに取り付けます。
上から差し込むようにスライドさせて入れてください。



<図 9-6>

ハーフミラーの
設置が行えました



<図 9-7>

フードフレーム止めねじでフードと枠を留めます

セットアップ完了



モニターとVGAケーブルでパソコンにつなぎましょう

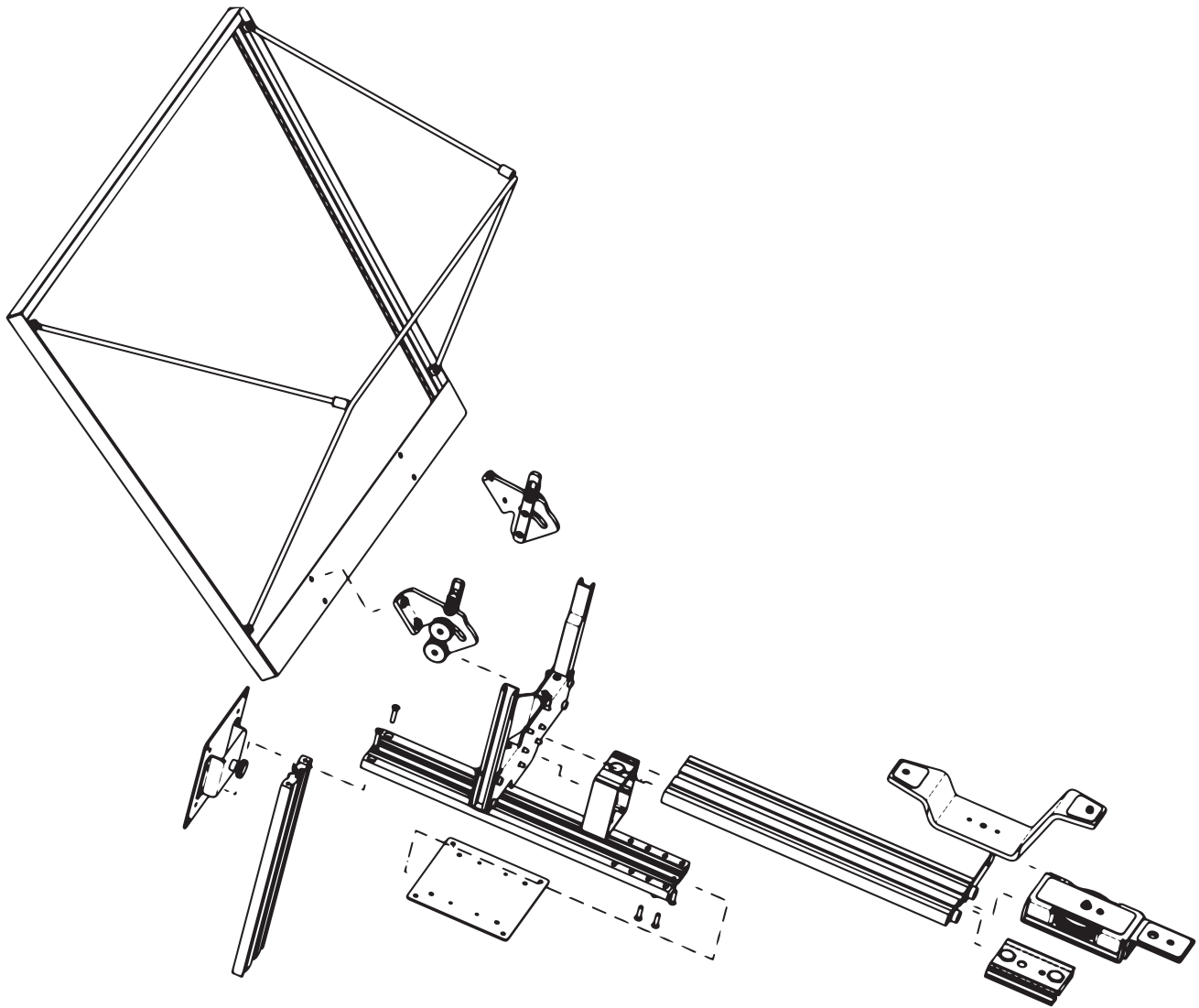


モニターの電源を入れると
このようになります

画面を反転する場合は
パワーポイントなどのソフトを
使用するか

「 dongle 」で専用の
ソフトウェアを使用して反転させます





取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください
使い方、セットアップの仕方については、アテインのサイトでも動画などでご紹介しています

<http://www.attainj.co.jp/production/teleprompter-wj.html>

お問い合わせはこちらまで

アテイン株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2丁目19番8号 酒井ビル

TEL 03-3255-4721 Mail info@attainj.co.jp Web <http://www.attainj.co.jp/>

【YouTube：Attain チャンネル】 <http://www.youtube.com/user/AttainDVD>